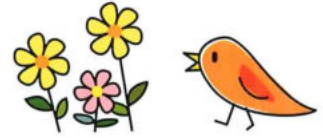


主題名 認め合う心

教材名 世界に一つだけの花 (JASRAC 出 0700532-701)



人権学習の視点 普遍的な視点「人権の意義」

主題・教材について

中学年は、友達の個性を見つけたりすることができるようになるなど、物事の捉え方が広がる時期である。

この教材では、一人一人が多様でちがいもあるがそれぞれがよさを持つことを感じさせ、お互いに認め合うことを通して、一人一人を大切にしようとする心情を培いたい。

ねらい

「人権」とは誰もが幸福な生活を送るために必要な権利であることを知り、一人一人がかけがえない存在であることに気付き、互いに認め合い、大切にしようとする心情を培う。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○「世界に一つだけの花」を聴かせ、1番の歌詞の意味を理解させる。	一斉	○「世界に一つだけの花」を聴く。 ○1番の歌詞の意味を理解する。	○歌詞の意味を深く理解するのではなく、「違いがあるから良い」という雰囲気を理解させる。	CD
展開	<b>どの花が「すてき」かな？</b>				
	○花屋の店先の写真を見て、どの花もそれぞれすてきだということに気付かせる。	一斉	○花屋の店先の写真を見て、どの花がどのように「すてき」か考えて発表する。	○1番きれいな花を選ぶのではなくそれぞれの花の違いからそれぞれの「すてき」に気付かせる。	資料「世界に一つだけの花」
展開	<b>写真を見て、感じたことや思ったことを書いてみよう</b>				
	○写真を見て感じたことや思ったことを書き、発表する中で「人権」について考えさせる。	個別 一斉	○たくさんの人々の写真を見て、それぞれの感じたことや思ったことをワークシートに書き、発表する。  ○一人一人の生き生きとした姿、表情から、それぞれがかけがえない存在であることに気付かせる。 ○人権の意義について理解し、それぞれを認め合うことの大切さに気付かせる。	○「女性、男性」などの固定観念を持ったような発言には注意する。 ○友だちの気付いたことを聞き「同じことに気付いた。」「気付かなかったけどなるほどと思った。」「そうは思わない。」という感想を引き出し、感じ方も人それぞれだということに気付かせる。 ○一人一人がかけがえない存在であり、その一人一人の幸福のためには人権の尊重が不可欠であることに気付かせる。 ○人権とは「人種・性別・言葉・仕事・年代…にかかわらず、すべての人が幸福な生活を送るために持っている権利」であるということを理解させる。	ワークシート
まとめ	○本時のまとめをする。	一斉	○授業の感想を発表する。 ○「世界に一つだけの花」をみんなで歌う。		

評価

「人権」とは誰もが幸福な生活を送るために必要な権利であることを知り、一人一人がかけがえない存在であることに気付き、互いに認め合い大切にしようとする心情を持てたか。